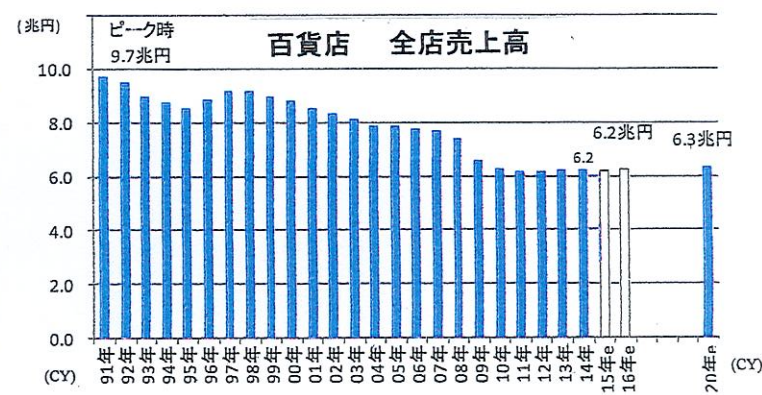
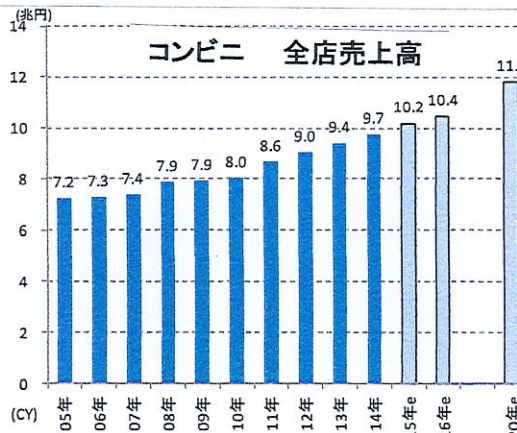
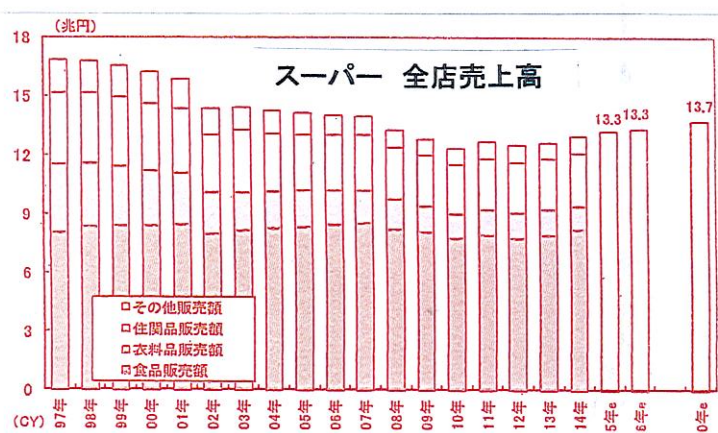


◆「高齢化社会」日本は世界で最高！

総務省が2015年6月29日に公表した国勢調査によると、9年後の2025年には、65歳以上の高齢者は26.7%となり4人に一人が高齢者となる。これは日本が世界一の長寿国となったことを現す。また、労働力人口は6,075万人となり2010年に比べ2025年には295万人が減る見通しだ。なお、今後高齢者の一人所帯が増えて2010年には1,679万所帯であったが、2025年には1,685万所帯と6万所帯が増える見通しだ。また、働く人の50%が女性と高齢者が占める。雇用者のうち男性の場合でも非正規の割合は18%で女性は54%となる。今後、介護や福祉の場での就業者は増えるものと思われる。今年4月の時点で「生活保護受給者」は163万2,271所帯でこの内83万512所帯が高齢者で、しかも一人暮らしの高齢者が75万1,700所帯といずれも過去最高となった。

◆スーパー、コンビニ、百貨店の売上高推移と予測！



◆流通小売り業の中期見通し！

このところの円高、株安、英国のEU離脱、中国の景気低迷など外部要因による今年後半の国内の消費はおおむね横ばいが予想される。2020年にかけては単身所帯数の増加が人口減少を補い、個人消費の拡大をもたらすとみられること、また、オリンピックイヤーまではインバンド需要の拡大もあり、景況の落ちこみは回避できるものと期待されることから、小売業の販売額は微増ではあるが拡大を続けるものと予測されている。



◆目を見張る、進化する人工知能！③

自動で在庫を検知できる在庫管理ロボット(Tally)が発表された。在庫がなくなったことや補充や在庫発注を教えてくれる。また商品が異なる棚に並んでないか、など検知し、日々の在庫管理をスムーズに行い、クラウド上で在庫管理以外の店舗内状況を把握することができる。コストを削減しながら顧客満足度を高めることができる。今後ロボットの分野は発展の一途をたどるだろう。

◆加速する温暖化！⑩

今年2016年の世界平均気温は産業革命前より1.14℃高く気候変動による温暖化は地球規模で熱波や集中豪雨による洪水など、極端な気象現象が起こる懸念がある。活発なエルニーニョ現象は昨年後半から今年春先まで続いていたが、その後数か月後に日本に影響を及ぼすとされている。今後は、気温上昇が加速する兆候があり、今年の夏は猛暑となる。



◆対応の良さ日本一！
アロンに聞けば何でも判る！
親切、丁寧、スピード回答！

◆ 食品容器・包装資材・総合商社 ◆

アロン・トレーディング株式会社

本社 東京都千代田区神田佐久間町1-14 ☎03-3257-1701(代)
仙台営業所 仙台市青葉区中央4-8-17 ☎022-211-0701(代)